

## 地震から命を守るために今私たちにできること

令和6年1月1日16時10分、能登半島を震源とする最大震度7の大地震が発生し、地震火災、津波、家屋の倒壊、土砂崩れなどにより極めて深刻な被害をもたらしました。また支援物資が被災者のもとに届かないことも話題となりました。北区の住民の皆様におかれましては、今一度ご自宅の家具の転倒防止対策(4ページ参照)を確認するほか、今回の地震を教訓として以下の2点について見直しをお願いします。

### 地震火災対策

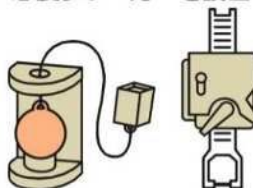
☞ 地震の後に起きる火災は拡大しやすい

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ・液化化による断水   | ・消火水の不足   |
| ・停電         | ・消防設備の不作動 |
| ・津波などによる避難  | ・消火人員の不足  |
| ・木造住宅の倒壊・破損 | ・可燃物が散乱   |

消火器等による消火

ブレーカーの遮断

あらかじめ感震ブレーカーを設置



おもり式  
感震ブレーカーの種類

**火災を起こさない、起きても小さな火のうちに消すことが重要です。**

- 消火器や消火スプレーを設置しましょう
- 火災の早期発見には住宅用火災警報器が有効！
- 感震ブレーカーの設置や避難時のブレーカーの遮断も忘れずに

### 備蓄品の準備

**備蓄品はご家庭にありますか？**  
地震発生後の生活を維持するため  
備蓄品の準備をしましょう。

- 長期間にわたり、電気、ガス、水道などのライフラインや食品などの流通が停止する恐れがあります。被災前のように調理や入浴などができないことを想定して約7日分の生活用品を備蓄しましょう。
- 地震は冬の寒い時期にもやってきます。体温が低下し低体温症にならないよう、暖房なしで過ごすのに十分な防寒衣や毛布、また、暖房用の燃料など防寒対策品を準備しましょう。
- 見落としがちなのがトイレです。断水によりトイレが使えなくなる恐れがあります。水を使わない簡易トイレを準備しましょう。



ライフラインの停止を想定した食料備蓄

衛生用品

(ウエットティッシュなど)

防寒対策品  
(毛布など)

簡易トイレ

## ◆北区内

○ 1 月中に発生した火災・救急・救助

火 災		救 急		救 助	
当 月	前年当月	当 月	前年当月	当 月	前年当月
2 件	1 件	1,088 件	1,100 件	28 件	21 件

○ 火災概要

発生日	学 区	発生場所	種 別	災害概要
1月 5日	川 中	北区中切町 5丁目地内	建 物	8階建共同住宅のエレベーターホールから出火 延焼・死者・負傷者なし
1月24日	金 城	北区金城町 2丁目地内	建 物	平屋建2軒棟割店舗の厨房から出火 延焼・死者・負傷者なし
※令和5年 8月14日	宮 前	北区上飯田東町 2丁目地内	建 物	4階建共同住宅のベランダから出火 延焼・死者・負傷者なし

「※」印の事案は、令和5年12月2日に消防署が覚知したものです。

○ 昨年中との比較（1 月 1 日～1 月 31 日）

区 分	火 災			死 者 (人)	負傷者 (人)	救 急	救 助
	件 数	建 物	建物以外				
令和6年	2	2	0	0	0	1,088	28
令和5年	1	0	1	0	0	1,100	21
増 減	+1	+2	▲ 1	0	0	▲ 12	+7

## ◆名古屋市内

○ 1 月中に発生した火災・救急・救助

火 災		救 急		救 助	
当 月	前年当月	当 月	前年当月	当 月	前年当月
38 件	50 件	14,288 件	13,491 件	242 件	203 件

○ 昨年中との比較（1 月 1 日～1 月 31 日）

区 分	火 災			死 者 (人)	負傷者 (人)	救 急	救 助
	件 数	建 物	建物以外				
令和6年	38	25	13	0	3	14,288	242
令和5年	50	34	16	6	15	13,491	203
増 減	▲ 12	▲ 9	▲ 3	▲ 6	▲ 12	+797	+39

○ 学区別火災統計（1月1日～1月31日）

学区	火災件数	建物		死者 (人)	負傷者 (人)
		建物	建物以外		
六郷	0	0	0	0	0
六郷北	0	0	0	0	0
飯田	0	0	0	0	0
宮前	0	0	0	0	0
名北	0	0	0	0	0
辻	0	0	0	0	0
杉村	0	0	0	0	0
大杉	0	0	0	0	0
清水	0	0	0	0	0
金城	1	1	0	0	0
東志賀	0	0	0	0	0
城北	0	0	0	0	0
光城	0	0	0	0	0
川中	1	1	0	0	0
味鋤	0	0	0	0	0
西味鋤	0	0	0	0	0
楠	0	0	0	0	0
如意	0	0	0	0	0
楠西	0	0	0	0	0
合計	2	2	0	0	0

(注) 救急・救助にあつては、出動件数であり、市外への出動を含みます。  
令和6年1月31日現在の速報値です。

○ 災害予防一〇メモ

- ・ 2月3日は節分です。この日は各地で豆まきが行われますが、硬い豆やナッツ類は、小さなお子様が喉や気管につまらせ、窒息や気管支炎などを引き起こす恐れがあります。5歳以下の子どもは、食べ物をかみ砕いたり飲み込む力が十分発達していないとされているため、硬い豆やナッツ類を食べさせないように注意しましょう。
- ・ 北区において、コンロで鍋に火をかけたまま放置したため空焚きし、白煙が立ち込める事案が1月中旬に2件発生しました。幸い、住宅用火災警報器による早期発見や、ガスコンロの安全装置（Siセンサー）が働きコンロの火が消えたことなどにより、火災には至りませんでした。火のついたコンロから目を離さないことはもちろんのこと、こうした機器が電池切れやセンサーの汚れなどで動作しないことのないよう、定期的に点検や掃除をしましょう。

○ 北区内過去3年間の火災・救急・救助の状況（1月1日～12月31日）

区分	火災			死者 (人)	負傷者 (人)	救急	救助
	件数	建物	建物以外				
令和5年	31	16	15	0	6	12,305	246
令和4年	31	21	10	3	13	11,297	195
令和3年	21	11	10	2	4	10,014	182

○ 名古屋市内過去3年間の火災・救急・救助の状況（1月1日～12月31日）

区分	火災			死者 (人)	負傷者 (人)	救急	救助
	件数	建物	建物以外				
令和5年	550	355	195	20	120	155,776	2,508
令和4年	508	335	173	17	123	146,609	2,235
令和3年	468	289	179	11	108	123,229	1,820

（注）救急・救助にあつては出動件数であり、市外への出動を含みます。

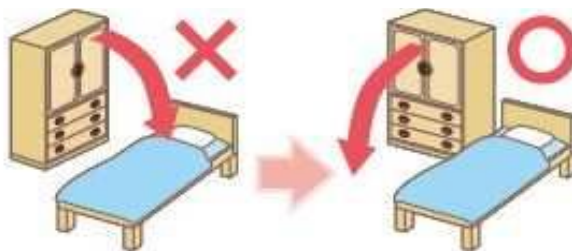
## 家具等の転倒防止対策

安価、かつ確実に命を守る対策です。

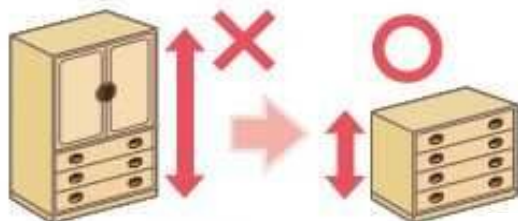
家具等の配置を優先に寝室等を見直し、背の低い家具への変更や固定など、転倒防止対策を行いましょ。



家具を置かないようにしている



就寝場所や、出入口を塞ぐ位置に倒れないような家具のレイアウトにしている



背の高い家具は置かないようにしている



壁側奥に設置

家具の転倒による負傷を防ぐため、家具を固定している  
※様々な家具転倒防止器具があります

## 家具転倒防止ボランティアの派遣事業のご案内

ご自身で家具の固定が出来ない方は、家具転倒防止ボランティアが  
お手伝いします。取り付け器具などの材料費のみ利用者負担となり  
ますが、**施工費は無料**で実施します。

【お申込み・お問い合わせ】

北消防署総務課 052-981-0119

